



木山校長のきやまるじゃーなる 2月18日号

もうすぐ卒業 ～旅立つ諸君へ～

本校での「絆」「自信」「極み」「魅力」を胸に、自分の力で前進あるのみ・・・

◆早いもので3年次の生徒たちはまもなく学び舎である県立加古川南高校を卒業します。思えば3年前の春、希望を胸に本校に入学し、総合的な探求の時間や多くの選択科目などの充実した学び、打ち込んだ部活動や大いに盛り上がった文化祭・体育祭、その他にも多くの行事や出来事がありました。楽しかったですか？苦しかったですか？



私から見て3年次の皆さんは大変充実した高校生活を送っていたように思います。それは、皆さんが学年全体で仲間意識を持ち、笑顔があふれ元気な挨拶の音が物語っていたと思います。

◆でも皆さんはこれから社会に出て、自分の力で生きていくこととなります。皆さんが家で毎日お腹一杯ご飯が食べられるのは、親が一生懸命働いて信用を得ているからです。そのおかげで給料がもらえ、皆さんは家でお腹一杯ご飯が食べられるのです。これからは皆さんが社会に出て信用を得られるよう頑張らねばなりません。

ですから、この文章を読んだその日は、家でお腹一杯ご飯を食べて親に感謝してください。「お父さん、お母さん、いつもありがとう」って・・・

◆今年度も何度か皆さんに訴えてきましたが、今の世の中は何が起こるか分からない、まさに変化の激しく予測困難な時代といわれています。こんな変化の激しい時代でも困難に負けず皆さん一人一人が「たくましく生きていく」ため、私は今年のキーワードとして「①絆、②自信、③極み、④極み」を意識しようと訴えてきました。3年次生が卒業するにあたりこれらキーワードの真意を説明しておきます。

①「絆」はその文字の通り加古南生としての誇りを持ち、困ったときに助けを求め合える「友情、仲間、縁、知り合い」になるものです。長い人生、絆を使って互いに頼りなさい。

②「自信」というのは、君たちはこの加古南での学びで大いに成長した証であり、少なくとも入学前の君たちとは“別人”といえるくらい伸びているのです。だから「やればできる」という自信を持って社会に出て行きなさい。

③「極み」とは何でも「最後までやり抜く」ことで得られるものは大きいという意味であり、探求論文や部活動、教科や科目の学習、趣味など君たちは加古南でやり抜いたのです。だから、次のステージでも目標を決めてやり抜き（極め）なさい。

④「魅力」は人を喜ばせたり楽しませたり、とにかく「誰かのために」尽くしたり協力したりすることができる魅力ある（信頼される）人でありなさい。



総合学科 23 期生として「奇跡の出会い」を忘れず、皆さんの今後の活躍と幸福を祈ります。

校長オススメ卒業ソング今年はこちら！ 「糸」（中島みゆき）

なぜ めぐり逢うのかを 私たちは なにも知らない
いつ めぐり逢うのかを 私たちは いつも知らない
どこにいたの 生きてきたの 遠い空の下 ふたつの物語
縦の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いつか誰かを 暖めうるかもしれない

なぜ 生きてゆくのかを 迷った日の跡の ささくれ
夢追いかけて走って ころんだ日の跡の ささくれ
こんな糸がなんになるの 心許なくて ふるえてた風の中
縦の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いつか誰かの 傷をかばうかもしれない

縦の糸はあなた 横の糸は私 逢うべき糸に 出会えることを
人は 仕合わせと呼びます



詩・曲：中島みゆき

今後の予定

2/19(木)～26(木)
2/20(金)
2/26(木)
2/27(金)
3/6(金)
3/12(木)

年次末考査
推薦・外国人枠特別入試 合格発表
同窓会入会式
卒業式
球技大会
複数志願入試

